

令和7年度第1回・第2回文京区立中学校部活動地域展開に係る
合同部活動検討ワーキング・グループ委員の主な意見

「文京区立中学校部活動地域移行実施計画 2026（素案）」に対する主な意見

1. バドミントン部はすでに区内4校が集まり、月1回程度、各校の顧問が持ち回りで合同部活動を実施しており、50人程度が参加している。部活動指導員・補助員がいることもあり、無理なくやれている。
2. チームスポーツと個人競技の違いや、団体に勝ちたいのか個人で勝ちたいのかという子供たちのニーズもくみ取るべき。
3. 地域の方は中体連の専門員にはなれないので、地域移行後の運営面が不安。
4. ソフトテニス部は年に1回、地域の方のお力を借りながら合同練習会を行っているが、都とのつながりや外部の仕事については懸念がある。
5. 地域移行によって、今頑張っている子供たちが離れていってしまうのではと心配している。
6. ダンス部では地域のイベントに参加することも多いので、土日の練習が無くなると練習量が足りなくなってしまうのではないかと懸念している。
7. 地域移行後のSNS上の問題や個人情報の管理、緊急時の保護者への連絡に懸念がある。
8. 卓球部では指導してくださっている地域の方と子供たちで良い関係を築けており、新しい価値を感じている。一方で、今まで築き上げてきた関係が途絶えてしまうのは残念。
9. 勝つことがゴールになっている子供たちもおそらくたくさんいる。
10. サッカー部はすでに合同部活動を実施している。顧問の教員は専門性がないので助かっている。スケジュールの打合せについても、委託事業者が調整してくれているのを生徒におろす形になっているので、うまく回っている。
11. 剣道部では合同は多い。剣友会の試合を優先して中体連に出ないことは過去にもあった。
12. 地域の指導者は平日に別の仕事をしているので、平日の大会は厳しい。

休日の活動の運営及び指導を外部委託することに対する主な意見

1. 外部委託の報酬と土日教員の手当の金額が違うのはダブルスタンダードとなるため、考慮してほしい。
2. 応用レベルと基礎レベルどちらを教えてほしいかは生徒によるので、そのニーズには応えるべき。
3. 人材確保が確保できるなら可能だと思う。

多様な休日の部活動の形に対する主な意見

1. 集め方が問題。色んな価値観・レベルの生徒が集まると難しいと思う。レベル別で集めれば子供のニーズに応えられるのでは。
2. 平日でも塾や習い事で生徒が全員集まらないときがある。休日の練習試合でも同様のため、土日の両方に開いてもらい、生徒が行けるときに行けるような形をとれると良い。